

20周年・歯臓ビル誕生記念

第21回 健康歯学フォーラム

一人芝居

俳優・水澤心吾 (みさわしんご) 氏

1950年、滋賀県高島市生まれ。

俳優・講演者。

1977年「天守物語」の坂東玉三郎の相手役にオーディションで選ばれ、本格的に俳優の道を進む。以後、テレビ・ドラマ、映画、舞台を中心に活躍。表現力を深めるため、ビジョン心理学のチャック・スペザーノ博士、感性論哲学の提唱者 吉村思風に師事。2008年米国エレノア・ルーズベルト賞受賞。



第1部
14:00~

「天命に生きた一人の男・村津和正物語」

20年間、8500症例をふまえて…

「歯は臓器だった」

“歯は単に食べる道具に過ぎない”という「歯末梢説」の歯科治療が常識の中で、命を賭して、敢然と異を唱え、“歯は中枢の臓器である”という「歯中枢説」をはじめ、今注目されている歯科不適合金属の問題性を20年前より提唱、1993年「むらつ歯科クリニック」の創業によって、その真偽を天に問うた。

それが、今や8500症例を超える臨床実績を経て、真説であることが実証された。そして、アジアの玄関口、博多駅前に「歯臓ビル」が誕生した。

第2部
15:40~

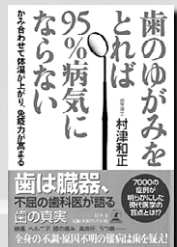
村津和正講師

「歯は命の中心を整えていた」



歯学博士・村津和正 (むらつかずまさ) 氏

医療法人むらつ歯科クリニック理事長、KOSMOS国際口腔健康科学研究センター所長、NPO法人日本歯臓協会理事長。1954年大分県生まれ。九州大学歯学部卒業後、同大学院博士課程を経て、九州大学歯学部付属病院勤務。米国テキサス大学生命医学部研究所に留学。その後、九州大学健康科学センターで、日本で最初の健康外来歯科口腔内科の立ち上げに参加する。「歯は脳中枢神経系の一部であり、脳と全身の統御において決定的な役割を担っている」とする「歯中枢説」を提唱し、その臨床例は20年の歳月で8500症例に達し、真説であることが実証された。『歯は臓器だった』、『Teeth are our organs (英語版)』、『歯は中枢だった』(以上、KOS刊)、『歯は命とつながる臓器』、『歯はウソをつかない』(以上、三五館刊) など著書多数。



村津和正著
「歯のゆがみをとれば95%病気になる」(幻冬舎)

「健康は 食から 歯から 元気から」

6月4日から10日までは「歯と口の健康週間」

そして、今日は「虫歯予防デー」記念日

どうぞ、歯に感謝し、大切にしましょう。

日時

平成25年 6月23日(日) 14:00~17:30 (開場13:30)

場所

アクロス福岡(天神)
イベントホール(地下2階)

福岡市中央区天神1丁目1-1 TEL 092-725-9111(代表)

申込方法

※前売をご希望の方は、事前登録をお願いします。(6月15日締切)

①~④を記入しTEL、FAX、Emailのいずれかで、お申込ください。

TEL 092-476-0834

FAX 092-415-5818

Email forum@muratsu.jp

- ①住所
- ②氏名
- ③電話番号
- ④参加人数

参加申込

前売:2,000円(当日:3,000円)

◆定員次第締切となります

■お申込後、

(郵便局)01760-8-92413
NPO日本歯臓協会

にお振込ください。入金確認後
チケットを郵送いたします。

※振込手数料はご負担になります。

■振込用紙の通信欄には、必ず

6月23日 とご記入ください。

共催:NPO日本歯臓協会・

KOSMOS 国際口腔健康科学研究センター

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-5-9 歯臓ビル8F

NPO日本歯臓協会 検索